



大樹のこころ

修学旅行での学び

11月16日(水)17日(木)にかけて6年生が奈良・京都に出かけました。修学旅行は楽しい宿泊行事で、卒業文集を作成する際には人気の題材として上位にきます。それだけ子供たちにとって大切な思い出になるものです。しかし、ただ「楽しいだけ」では意味がありません。そこには教育的な学びが必要です。本校の6年生は修学旅行を通して、どんな学びをしたのでしょうか。

修学旅行に先立ち学年でスローガンを決めていました。「学ぼう つくろう スマイルメモリー ～最強の仲間と共に～」です。さらに旅行中に意識すべき目標として「礼儀マナー挨拶」「時間を守る」「学習学び」という3つを掲げていました。こうした取組に6年生の先生方の「教師としてのセンス」を感じます。

旅行中の挨拶は素晴らしいの一言でした。バスガイドさんや運転手さんはもちろんのこと、見学先や食事会場、旅館の方々にも、挨拶やお礼をきちんとする姿を見ることができました。時折、他校の修学旅行生に挨拶する子もいましたが、これもご愛嬌といったところでしょうか(笑)。スリッパの整頓は「見事」の一言です。旅館では、子供のテンションが上がってしまい、つつい乱れがちになってしまいました。しかし本校の6年生は、どの部屋でもスリッパの整頓がしっかりとできていました。また荷物の整理も丁寧にいられていて、室内が整然としていました。とても気持ちの良いものでした。

「学習」の面でも有意義でした。東大寺・奈良公園の班別活動の際には、地域のボランティアの皆さんがガイド役を務めてくださいました。学級全体で見学となると、バスガイドさんの説明を聞き漏らす子も出てきます。班別でガイドさんからお話を聞くことができたのは、歴史を学ぶという面において、とても意味のあるものでした。

時間を意識した行動は完璧でした。集合時間をすべて守ることができていました。子供たちが旅行の日程を把握し、見通しをもって行動したことの証です。楽しむことと節度ある行動の両立ができていました。こうして振り返ってみると目標にある「礼儀挨拶マナー」「時間を守る」「学習学び」をクリアできたと言えるでしょう。

コロナ禍で心配しましたが、無事に全員参加ができました。これも子供たちの体調管理を気遣ってくださった保護者の皆様のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

修学旅行を通して、学習面での学びと人間的な学びを経験した6年生。一回り大きくなって帰ってきました。これから卒業までの間、子供たちがどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

